



Est. 1912

# よこと館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



## 理事長閑話 うめ草 ⑩

前回と前々回（⑧・⑨回）で専門職の在り方を、アーツとして思う眩き（つぶやき）をしてきましたが、今回は方向を変えて対人援助人材の「分化と統合」という視点から眩きます。

フィンランドでは 1990 年代から社会サービスと保健医療ケア分野（social and health care）の共通基礎資格である「ラヒホイタヤ」資格が導入されました。その背景としては社会サービス利用者の医療依存度の高まりという現実があります。また従来の人材モデルは機能的に専門分化した異なる業種・資格を前提としています。そして分業化したケアを、連携により総合性を持たせて、必要な人に提供するという、専門分野別に分化した職種・資格分立型のモデルです。1例で言えばソーシャルワーカー資格の社会福祉士と別に精神保健福祉士資格をつくり、近い領域に「公認心理師」という国家資格がつくられたのも記憶に新しいところです。

一方で地域や在宅のケアは、生活者としてのクライアントの生活障害に着目します。そして援助は包括的に生活全体をケアするという考え方です。認知障害がある人や多問題を抱える事例などに、パーソンセンタードケア（person centered care）の有効性が言われます。これは対象となる「人」を中心として援助の機能化を図ります。ソーシャルワークで言われるケアマネジメントの援助概念に近いものです。社会サービスや保健医療ケア、心の支えなどのケア基盤は人の生活そのものです。そしてアーツがそれを支える基盤なのです。ラヒホイタヤはフィンランドにおける対人援助の基盤に置かれた共通基礎資格、新しいアーツの取り組みなのです。

橋本 正明

## 事業本部長メッセージ

児童事業本部の障害プロジェクトが橋本理事長の指示で法人としてのプロジェクトとなり高齢から至誠スオミホームの河合晴夫園長、保育から至誠いしだ保育園の高橋智宏園長、外部委員として（福）けやきの社の鳥居尚之氏に加わっていただき昨年 12 月からこの 3 月まで開催しました。このプロジェクトを通して改めて感じたことは、それぞれの施設が持つ実践力やアイデアが人のつながりによって法人というスケールの力になることです。

また、3 月 6 日に至誠ホームを会場に錦六会との合同災害訓練が行われました。そして、その午後七小の校庭で町会主催の「第 2 回グランドゴルフ大会」が行われました。私は町会の M さんから再三誘われていたこともあり至誠大地の家の加藤職員と男子の部に参加しました。初めてでルールを教わりながらでしたが結果はなんと第 2 位で賞状とカップまで戴いてしまいました。その流れで反省会にも参加することになり町会活動を支える方々の個性や思いに触れ楽しい時間を過ごしました。

新規採用職員を迎える喜びとともに仲間との別れの季節でもありますが、最近時々目にするソーシャルキャピタル（社会関係資本とか人間関係資本などと言われます）という視点でとらえると私たちは法人内外に広がる大きな資本を持っていることになりす。

児童事業本部長 高橋 久雄

## 事業本部情報

根川の桜も満開になりました。ようやく温かい春が訪れました。先日は高校を卒業し、児童養護施設を巣立っていく子ども達に大勢の地域の方々のご来賓においでいただき温かい励ましのお言葉をいただき無事に卒園式を終えることができました。感動と涙あふれる温かい会となり心より感謝申し上げます。さて、新年度を迎え大勢の新任職員と共に子ども達の健やかな生活が新たにスタートいたします。

「明るく、直く、健やかに」をモットーに今年度も子ども一人一人の主体性を尊重し、安心できる生活環境をさらに整え豊かな生活を推進してまいります。サテライト型児童養護施設開設に向け具体的な準備を担当者と進めております。ワークセンターまことくらぶでは、利用者一人ひとりが、働くことの喜びと、生きている充実感を感じることができる支援を充実させてまいります。新たな年度が始まりました地域の皆様のお力を大切にスタッフ一同努力をしてまいります。(櫻井 壽)

### ◆保育事業本部◆

少子化が進む中で一方保育園希望者が増加する現象も起きています。また、地域子育て支援事業への希望者も多く、就学前教育に対する期待も高まってきています。保育事業本部としては、各区市と調整しつつ地域の保育ニーズを把握しながら、基本方針に基づいて本年度の事業を進めていきます。

至誠第二保育園施設整備について理事会でゴーサインを頂きましたので、三浦園長をチーフにプロジェクトチームが具体的な作業を進めます。現園舎は昭和58年度建築のRC壁構造で、堅牢な感じがしますが、「老朽度調査表」を用いた一級建築士の調査では現存率が60%に満たない状態であることが判明し、かさむ修繕経費や維持管理費増の試算等踏まえ、改築は時間の問題でもありました。日野市は待機児童の解消のため、定員増による「増改築」交付金による施設整備計画を進めてくださいます。区画整理等により形状変化した敷地全体の有効活用化にもなります。(高橋 紘)

### ◆高齢事業本部至誠ホーム◆

新しい仲間が職場に入りました。入職前の事前研修会では本部内で毎日のように顔を会わせ座学研修中に態度を視ていました。受講態度がよろしくなければ注意したり、元気がなければ声をかけたりして、私とは40歳ぐらい違う若者とも段々と会話がスムーズになってきました。社会人としてのマナーなどは彼らは知らないことが多いので、押し付けの言い方ではなく理由をつけて伝えると実によく理解してくれます。例えば、私がいつもこだわるコートを着たままの事務室入室はダメだということも(別の部署への入室の際の礼儀もあり)今年の新人は今のところ良く理解して実行してくれています。何度も繰り返し言った成果かな、とも感じています。そう言えば、男性職員には、くだけて感じで、声掛けがしやすいこともあり、彼らの入職が内定したころから何度かネクタイの締め方や髪の長さ、受講態度などからかうようにして注意してきましたが、随分その成果があり良くわかってきたように思われます。私は以前の会社生活で教育部門にいたことが長かったので、若手への接触・教育機会が多く、簡単に言えば「お節介な存在」でした。細かいことを何回を指導することは少しためらうでしょうが、必ず本人のためになると思います。職場にきた後輩に愛情を持って接して行きたいものです。(金井裕一)

## 本部事務局だより

改正社会福祉法が3月31日に成立し、4月1日から施行されました。主な改正内容は、①事業運営の透明性の向上、②財務規律の強化、③地域における公益的な取組を実施する責務、④行政の在り方、⑤社会福祉施設退職手当共済制度の見直し等です。いずれも法人の運営にとって重要な改正ですが、ここでは、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化の観点から「会計監査人の設置が」義務付けられたことに触れたいと思います。

会計監査人の設置は、監事監査に加えて会計監査人監査が増えただけではありません。例えば、東京都監査の経理監査が会計監査人監査に変更になります。また、会計監査人の監査内容は適正なガバナンスが貫徹されているかを監査する一方で、実査、棚卸立会及び確認など実務担当者レベルの業務が適切に行われているかも監査の対象としています。(例えば、会計監査人が現金を数えたり、棚卸の品目と数量を確認することもあります。)ポイントは、世間一般の法人において行われるべき管理によって「規定の通りの事務処理をしているか?」です。これと違うときは、規定に基づく事務処理にするようにしておきましょう。

(石橋正央)

<編集後>まだまだ、寒暖の差がある日が続きますが、確実に春が近づいているようです。事務所から外を眺めると1月には、メジロが来ていましたが、4月になったとたん、別名「春告げ鳥」の鶯が遊びに来てくれました。